

東京春祭を楽しむ(35)

—ライブ配信(35)—

1. 始めに

Web 情報紹介【2023No.44】で紹介した東京春祭 23 の 4 月度プログラムから興味を引いたプログラムを視聴していきます。今回は「マティス展」プレ・コンサート 辻 彩奈（ヴァイオリン）の演奏を視聴しました。

2. 東京春祭ライブ配信の試聴方法

試聴方法は下記のとおりです。

PC→UACU-700→Sonica DAC→BACU-1000→DA-3000→Brooklyn DAC+  
→BACU-2000→TruPhase→BACU-2000→300B→FAL C90EXW

これらの経路には仮想アース、MRF-005T およびスピーカーアキュライザーSPA-7 が装着されています。また、今回からスイッチングハブに LAN iSilencer をセットしています。

プログラムは次のとおりです。

日時・会場

2023 年 4 月 16 日 [日] 14:00 開演 (13:30 開場)

東京都美術館 講堂

出演

ヴァイオリン：辻彩奈

ピアノ：碓井俊樹

曲目

コレリ：ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ op.5-12 《ラ・フォルリア》

J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第 2 番よりシャコンヌ

ストラヴィンスキー（S.ドゥシュキン編）：イタリア組曲



### 3. 東京春祭ライブ配信の試聴結果



美術館の講堂からのライブ配信です。

《ラ・フォルア》は、古楽アンサンブルの演奏からヴァイオリンとピアノのデュオへの編曲版です。

シャコンヌは、お馴染みの無伴奏ヴァイオリンパルティータからの1曲で、ゆったりとしたテンポで丁寧に弾いています。

ストラヴィンスキーのイタリア組曲は、通常ストラヴィンスキー調ではなく、バロック調のしっとりとした表情から情熱的でダイナミックな表情に移行する曲です。

今回から、スイッチングハブに LAN iSilencer がセットされており、前報(34)の松浦奈々より、ざらつき感が後退して音質が向上しています。辻彩奈の使用楽器は、

1748年製のガダニーニ (Joannes Baptista Guadagnini) とのことで、落ち着いた渋い音がしており、LAN iSilencer の効果でガダニーニの特徴が十分に引き出されています。

#### 4. まとめ

東京春祭のライブ配信の受信ができ、昨年との比較では、仮想アースやスピーカーアキュライザーに加えて、LAN iSilencer の効果が確認できました。

以上